

安倍政権と維新政治を
終わらせよう！



大阪革新懇は11月16日、大阪市で「総選挙勝利・野党連合政権実現をめざす立憲野党シンポジウムin大阪」を開催し、100人が参加。日本共産党と立憲民主党の国会議員が野党共闘の発展を訴え、国民民主党と社民党からメッセージがありました。

府の責任で救命救急
センターの充実を



11月16日「中河内救命救急センターを考える会」は八尾市内で「府の責任で中河内救命救急センターの充実を」と訴え宣伝行動を行いました。宣伝行動には10人が参加、市民からは「あの病院で命が救われたから署名します」との声が寄せられました。

憲法改悪を
阻止しよう！



11月23日、大阪市内で大阪憲法会議・共同センター主催の「秋の憲法大学学習会」が開催され、九条の会事務局長で東京大学名誉教授の小森陽一さんが講演。改憲阻止に向けて新たな決意を固めることができました。

「ピラを見た」と
労働相談が！



11月28日京橋駅前にて最低賃金引き上げアピール及び労働相談ホットライン告知宣伝を行いました。寒風の中、33人が参加しました。29日のホットラインには前日の宣伝のピラを見たという方から相談が寄せられました。

ろーれんフラッシュユ

パート・非常勤・ヘルパー・派遣労働者のつどい



「経営者のみなさん
ズ〜っとほったらかしてんじやねえよー！」

11月17日西成区民センターにて、「同じ仕事なら同じ賃金・待遇当たり前！経営者のみなさん、ズ〜っとほったらかしてんじやねえよー」をスローガンに、非正規も正規もあつまれ!!「第23回パート・非常勤・ヘルパー・派遣労働者のつどい」を開催しました。

学習会では、全労連の斎藤寛生氏が「8時間働けば自立できる賃金を・最低賃金をめぐる情勢と課題」をテーマに講演しました。

斎藤氏は「最低賃金が全国一律ではなく世界から見ても異常な47都道府県に細分化されていることで、人口が地方から都心へ流出している。自民党の中でも『全国一律を求める』議員連盟が立ち上がった」ことや「日本の最賃は国際的にも低水準であること」また、「景気を回復させるには労働者の賃金を引き上げ

ることが最も効果的。賃金の地域間格差をなくし、全国どこでも人間らしく暮らせる社会へ。そのためには国民的な運動を通じて、政治を変えて社会に蔓延する格差や差別を無くしていくことが必要だ」と話しました。

最後に第23回つどいアピールを拍手で確認後、非正規労働者部会の島村部会長による閉会の挨拶を行ってつどいを終了しました。

国労大阪会館を
研修・学習会などにご利用ください
JR・天満駅 地下鉄・扇町駅 下車すぐ
◆身障者用昇降機設置
お申し込みは ☎06(6354)0661
〒530-0034 大阪市北区錦町2-2



「夕食会を含めて費用は参加者の自己負担」という総理の発言を、信用することはできません。もし安倍後援会が費用の一部を負担していたら、公選法が禁じている供心・買収に、ホテルが出していたなら利益供与になります。

また、マルチ商法で問題になったジャパンライフ山口会長は「桜を見る会」は安倍政権の「政治の私物化」による「桜を見る会」の問題や「森友・加計問題」の責任追及を行い「安倍政治打倒」のスローガンを掲げて運動を広げていきます。この国の主人公は、私たち国民です。国民の声で、安倍政治を終わらせ政治を変えましょう。

11月27日、『都構想』ストップ！豊かな大阪をつくる11・27府民のつどい」がエルシアターで行われ、700人以上の参加がありました。明るい会の荒田功事務局長が開会挨拶し、富田宏治さん（関西学院大学教授）は基調講演で、維新政治の本質をわかりやすく話しました。貧困と格差を「自己責任」だとして、「弱者に税金を使うのは許せない」と攻撃し、住民を分断するのが維新のやり方だと指摘。そして

利益の再分配が政治の役割であり、政治に関心をもち余裕やゆとりを奪われた人々にどう寄り添うかがポイントだとまとめました。

その後、来賓紹介があり森山浩行さん（立憲民主党政衆議院議員）、平松邦夫さん（第18代大阪市長）、辰巳コータローさん（日本共産党前参議院議員）から連帯の挨拶がありました。

今、安倍首相主催の「桜を見る会」と安倍後援会「前後祭」をめぐる、政治の私物化を許さないという国民世論が広がっています。

立憲野党は一致して安 となつていきます。倍首相自身による具体的説明を求め追及していき、安倍首相はまともに答えようとせず、「私は知らない」。資料を請求されると「廃棄した」。挙句に「来年は中止する」と火消しに躍起

る会」招待を宣伝利用。反社会勢力の出席も明らかになっています。

一部マスコミや維新の会などが立憲野党を批判しますが、民主主義の根幹を揺るがす大問題で、徹底説明が必要です。

おおさか総がかり行動実行委員会が12月3日に「桜を見る会・私物化を許さない！安倍政治を終わらせよう！緊急集会」を新阿波座公園で開催し、なんばまで300人が御堂筋をデモ行進しました。また、大阪労連でも12月4日に「安倍政権の退陣を求める緊急宣伝」を行いました。

都構想ストップ！ 大阪市をなくすな！



ッション。富田宏治さんがコーディネーターをし、パネラーは山中智子さん（大阪市会議員）、山田明さん（名古屋市立大学名誉教授）、幸田泉さん（ジャーナリスト）と多彩な顔ぶれ。大阪府知事だった橋下徹氏が「2度目の住民投票はない！」と言い切っていたにも関わらず、再びよみがえった大都市制度協議会（法定協）を「ゾンビ」と呼び、そのゾンビ化した法定協がともに議論